



東北一の金字塔樹立

局長表彰の榮譽に輝く平局

平局は二十一年度貯蓄の一萬九千圓、簡易保
戦に定額貯蓄で六百萬圓二千五百口に對して
五千圓という目標の六千八百口という好成
十萬六千圓の十倍に達し、おさめ東北六縣第
一の驚異的成績をおさ、二位の榮冠を獲得した
めた外郵便年金は目標の三十三日達成に開か
十五萬九千圓に對し、れる表彰式上最榮譽の
三倍の二百十四萬六千圓を受けることにな
圓、積立貯蓄目標三千七百圓吉川局長が出席する
四百萬圓に對し五倍金とことになった

各區割當決定

お名残り區内會長會

區内會制度廢止にとも
なり最後の區内會長會
議は十一日午後二時か
ら市公會堂日本間に開
かれた、市教育課長の
挨拶について區内會廢
止後の町内會のありか
たについて懇談、續い
て救國貯蓄の消化目標
額壹千五百萬圓の各區
消化目標と復興たから
くじ二萬二千枚の割當
額を決定、協力を要
望して慰勞會にうつつ
た、救國貯蓄および費
くじの消化目標額左の
とおり

- (救國貯蓄消化目標)
- 一區五十三萬六千圓
- 二區四十四萬二千圓
- 三區三十三萬六千圓
- 四區四十四萬二千圓
- 五區三十三萬六千圓
- 六區四十四萬二千圓
- 七區三十三萬六千圓
- 八區四十四萬二千圓
- 九區三十三萬六千圓
- 十區四十四萬二千圓
- 十一區三十三萬六千圓
- 十二區四十四萬二千圓
- 十三區三十三萬六千圓
- 十四區四十四萬二千圓
- 十五區三十三萬六千圓
- 十六區四十四萬二千圓
- 十七區三十三萬六千圓
- 十八區四十四萬二千圓
- 十九區三十三萬六千圓
- 二十區四十四萬二千圓
- 二十一區三十三萬六千圓
- 二十二區四十四萬二千圓
- 二十三區三十三萬六千圓
- 二十四區四十四萬二千圓
- 二十五區三十三萬六千圓
- 二十六區四十四萬二千圓
- 二十七區三十三萬六千圓
- 二十八區四十四萬二千圓
- 二十九區三十三萬六千圓
- 三十區四十四萬二千圓
- 三十一區三十三萬六千圓
- 三十二區四十四萬二千圓
- 三十三區三十三萬六千圓
- 三十四區四十四萬二千圓
- 三十五區三十三萬六千圓
- 三十六區四十四萬二千圓
- 三十七區三十三萬六千圓
- 三十八區四十四萬二千圓
- 三十九區三十三萬六千圓
- 四十區四十四萬二千圓
- 四十一區三十三萬六千圓
- 四十二區四十四萬二千圓
- 四十三區三十三萬六千圓
- 四十四區四十四萬二千圓
- 四十五區三十三萬六千圓
- 四十六區四十四萬二千圓
- 四十七區三十三萬六千圓
- 四十八區四十四萬二千圓
- 四十九區三十三萬六千圓
- 五十區四十四萬二千圓

尾崎一切を自供

重ねた悪事の數々
結局は金に窮して

尾崎は十八、九の頃
から放蕩者で當時
賭博事件で擧げられ
たときから住所を高
知縣高岡郡高岡村と

編集部新社屋移轉
本社移轉はなほ未定なから、本社を移轉す
るため、十日より、編集部を新社屋へ移轉し
ました。編集上の用件は、自今電話一七六番へお
願ひ致しませう。

いわき一言

平局の貯蓄東北六縣
第一位の榮譽に輝く
平局の貯蓄東北六縣
第一位の榮譽に輝く
平局の貯蓄東北六縣
第一位の榮譽に輝く

編集部新社屋移轉
本社移轉はなほ未定なから、本社を移轉す
るため、十日より、編集部を新社屋へ移轉し
ました。編集上の用件は、自今電話一七六番へお
願ひ致しませう。

履行を嚴重監視

玉屑の繭製品化へ

新繭價千百掛は納得し張ることになつてい
かねるとあぐまで千八たところ去る二、三兩
百掛を貫徹すべく意氣日農林省に開かれ、蠶
達して、郡下の蠶糸主任官會議に出席歸
家連は十四日原町に開縣した小林縣蠶糸課長
く濱三郎蠶糸課復興大の報告によると本省は
會の席上でもこれを主

江名濱の漁

感謝されるその

漁況氣象放送
いなしの不漁等とさび
しさをかこたれる濱も
昨今底曳漁で賑い殊に
水産石城の王座を占め
る江名は毎朝五、六隻
がチヌダ、アソコ、
トウジン等二萬貫から
三萬貫の水揚げを示し
氣を吐いているが大型
船は魚群が漸次南下の
模様なのでこれを追つ
て南下中なお全漁業
労組では各日五時と
時の二回に互り風向や
風速、魚群の位置等を
大型船と連絡の上各濱
向けに放送利便をはか
つているので各方面か
ら感謝されている

新炭又値上げ

平均して二割見當

鐵道運費等の値上げに
伴つて新炭販賣價格も
二割見當の値上げとさ
れ去る五日にさかのぼ
つて實施された(單位
は噸)

小名濱農業會

模範的耕地の處理策

數十町歩にわたる農耕
地を従來の小作業者を
對して整理、賣買契
約を成立せしめ、殊に
川町農會の日製工場
敷地の拂戻しにこれ
が買値資金の融通から
一切の手續上の處理ま
で行つたが、右は農地
法實施に先立つた物で
あり、かつ事務處理も極
めて簡潔であつたため
には實に先見の明ある
局から町民からも町當
寄せられてい

縣復興賣出し

當りは三本に一本

二十日から賣出し
一等二萬圓、三本に二
本當る縣の復興賣出し
は、いよいよ二十日か
ら賣出しと決定、平市
では十日市内全戸にバ
ンフレットを頒布して
戦災復興と戦災引揚同
胞援護のために、と協
力を要望した
このたからくじは券
面一通十圓で四月二

の供出請十貫匁につい
て絹織物一反を特配さ
ることとなつた外玉屑
繭の自家消費制限(一
供出繭の一割以内、一
戸最高四貫匁まで)を
撤發、全部について自
家消費を許可すること
になつた旨の報告があ
つたので、これを諒と
し政府の出方を監視干
渉の不十分さを補う
方法の實現を期すると
供に玉屑繭の製品化に
全力を注ぐこととなつ
た。計劃で、全大會に於
て、更に研究を遂げるこ
となつた

役員決定

從業者一本建

明る自由をもとめて
起ち上つた平市三業組
合の、むつみ會では九
日午後一時から組合事
務所に總會を開き、從
業者と從業者の
二本建を從業者一本建
として組合の改組を行
ひ、新たに衛生、娛樂
、修養の三部門を設け
て役員をも決めた
◎會長高須キミエ

公用紙の取扱會議

郡町村長會では十三日

午前九時から市公會堂
に日本間に公用紙取扱主
任者會議を開く

植田町の報奨清酒

植田町ではこの程供米

報奨用の酒八百石の割
當があつたので現物到
着を待つて全農家へ配
給する

對策協議

區内會廢止后

の措置に就き
區内會制度は今月末を
もつて廢止と決定した
ので市では十日の區
内會長會議で區内會廢
止後の種々對策を練る
ことになり各方面注視
の的となつてい、市
當局としては内務省の
指令とにらみ合せて平
市に即應した具體策を
練るべく準備をいそい
でい

新福◎副會長上杉
ヒデ子(豆樓)堀門サ
キ(第一新橋)會計
總務(三)豆樓)鈴木
フネ(千袋家)幹事
小倉マサ子(福美家)
館山キヨ(第一新橋)
河田トメヨ(官登)鈴木
木キクエ(芳本)高橋
サカイ(住吉樓)佐藤
アキ(榮樓)

△代用マツチ(發火附木)
△最上インデアン 卷紙
△香料入 線香各種
お仕入は、安徳自備サーピス木位

△御問屋さかいや商店
平市六丁目通電四八五
◇空木箱(シンゴ箱)賣物あり